

くらた共子は提案します

～高齢者が笑顔で 暮らし続けられる 上京区に～



日本共産党 京都市会議員 くらた共子 ともこ

市会議員2期。*元看護師、ケアマネージャー。在宅医療、介護の現場で21年間働く。

高齢者を大切にしてこそ希望の持てる社会に

上京区の高齢世帯の3分の1は一人住まいです。アンケートに「国保料が高い」「年金が少ない」「暮らしにくい」と不安の声がたくさん寄せられました。

日本をつくってこられた高齢者を大切に、安心して暮らしていける社会にしてこそ、働き盛りや若者も将来の希望が持てるのではないのでしょうか。



・国保料が非常に高い！
(70代男性)
・年金少なく、医療費に事欠く。娘も仕事がなく、心配です。(70代女性)
・要介護5の主人の受け入れ先が見つかりません。不安でたまりません。(80代女性)

2010上京区アンケートより

国と京都市・京都府の高齢者いじめを改めさせるため がんばります



政府は、医療の高齢者差別の仕組みを残し、介護保険はますます負担を増やした上にサービスを切り捨てようとしています。年金の引き下げも決めました。

京都市の国保は2年間で24億円も黒字なのに、値上げをされてきました。値上げに賛成した自民・民主・公明の責任も重大です。日本共産党は国保料の引き下げと保険証の取り上げ中止を求めてきました。

くらた共子は右のことを提案いたします。ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。

くらた共子
安心して高齢期を
暮らそうプラン
三つの提案



1. 安心できる医療・介護制度となるように

- 高齢者を差別する医療制度の廃止を求めます。
国保料を引き下げます。保険証の取り上げをやめさせます。
- 介護保険料と利用料の減免制度を拡充します。
- 最低保障年金制度をつくり、年金の底上げを求めます。

2. 高齢者の暮らしと安全をサポート

- 緊急通報システムを希望する世帯に無料で設置します。
- 商店街との連携した買い物サポートや、地域ボランティアの活動を支援します。
- お風呂に入れない方をつくらないために、入浴サービスを拡充します。
- 敬老乗車証の利用料値上げをストップします。
- 消費税増税に反対します。



3. 高齢期こそ自分らしく、 いきいきと活動できる町づくりを

- 空家を活用し、集える場をつくります。
文化会館の設置を求めます。
- カットされた老人クラブなどへの助成を元に戻し、拡充します。